

特注品にこだわる理由

有限会社 北谷厨房設備

〔代表者〕 名嘉 幸政(昭和 23 年 1 月 10 日生)

〔創 業〕 昭和 46 年 3 月 26 日

〔従業員〕 9 人

〔資本金〕 300 万円

〔所在地〕 沖縄市字知花 2458-1

〔連絡先〕 TEL 098-939-9011

FAX 098-939-9010

〔事業内容〕 レストラン厨房設備工事、
ボイラー取付工事、
ステンレス製特殊タンク製造



創業者 名嘉 幸政

創業者の名嘉氏は、離島の伊平屋出身で、学校を卒業後、東京のステンレス関連の会社に就職し、ステンレス加工に係る溶接技術を3年間経験した。その後沖縄に戻り、厨房設備の会社に就職し、さらにステンレス溶接技術を磨いた。名嘉社長は23歳の時、「溶接技術を活かした仕事で自立を図りたい。」と思い立った。しかしその頃は、経営の実績も無く、自分自身では銀行からの融資を受けることが出来ず途方に暮れていた。そんな中、兄弟や友人の協力により銀行から資金を借りることが出来た。この時、「これは、これから飛躍するためのチャンスだ。」と思って那覇市で事業を開始した。◆最初に手掛けたのは、ガラス張りの商品ケース冷蔵庫で、至る所に溶接技術が駆使されている。当時は、既製品の商品ケース冷蔵庫がまだ普及していないこともあり、那覇市の公設市場内や繁華街の商店を中心に需要があり販売していた。また、ステンレス製のタンクも手掛けているが、製作するキッカケとなったのは、ある時、台湾へ渡った時に台湾上空からステンレス製のタンクが目についたことだった。沖縄でのタンクの主流は、コンクリート製やグラスファイバー製で、長年使用すると、タンク内に藻が発生しやすいという欠点を抱えていた。この製品を沖縄で製作出来ないかと考え、台湾の製造メーカーを視察したところ、自分の持っている技術力で十分可能だという感触を得た。早速、ステンレスタンクの製造に取りかかり、主に特殊タンクの製造を受注するようになった。今では、同製品の県内生産メーカーとしての地位を築き、売上げ及びシェアを確実に伸ばしている。◆着実に実績を積み重ね、銀行の支店長から信頼され、事業運営の融資を受けることが出来た。この時、自分のやって来たことが認められた瞬間で、「この上ない喜びだった。」と表現した。そして、事業所を那覇から浦添を経て沖縄市に移転し、設備拡大など少しずつステップアップしていった。◆氏は、「失敗を恐れず、思いついたら何にでも挑戦する。」という気構えを持っている。常にお客様の要望を聞き、納得して気に入ってもらえる商品作りに努め、

どんな特注品でも製作できる自信を持っている。ある時は、鳥の丸焼き釜を製作したこともある。**大手メーカーが対応していない特注品を製造出来ることが、お客様の口コミで伝わり、大きな信頼を得ている。このことが、次の仕事へ結び付いている。**また、何かアイデアを考えることが好きで、発明品の開発に興味を持っている。実際に幾つの特許出願など、発想力に長けている。◆ある飲食店から依頼された”中華レンジ”は、低コスト、コンパクト設計となっており、業務用としてばかりでなく、少し改良すれば家庭用としても使用できる。テレビの料理番組で中華料理の作り方が紹介され、家庭でも中華料理を作りたいという人々が増えてきた昨今では、個人向けの需要が見込める商品となっている。この商品は、沖縄市の産業まつりでも好評を博し、優秀賞を獲得している。◆今後は、主力商品の販売に力を入れるとともに、お客様のニーズに合わせた商品作りを基本スタンスとして、大型タンクの製造技術の確立や最新厨房設備の研究に取り組んでいく。また、情報化への取り組みとして、「ホームページを開設し、県内外をはじめ国外のお客様からの注文に対応できる体制を構築していきたい。」と言う。



中華レンジ



ステンレス製タンク



工場外観



工場内部